

■住宅市街地総合整備事業について

戸田市では、平成15年に川岸二丁目の一部の地区が国の重点密集市街地（防災上の課題を早期に改善すべき地区）として公表されたことを受け、災害に強いまちづくりを推進するために「住宅市街地総合整備事業」（略称：住市総事業）を導入しました。

住市総事業は、建物づくり、道路づくり、公園・広場づくりを3本の柱とし、平成21年度から現在にかけて、右の一覧図のとおり事業を進めてきました。



C路線用地の取得（H24）



B路線用地の取得・整備（H21～26）

その他の事業実施状況

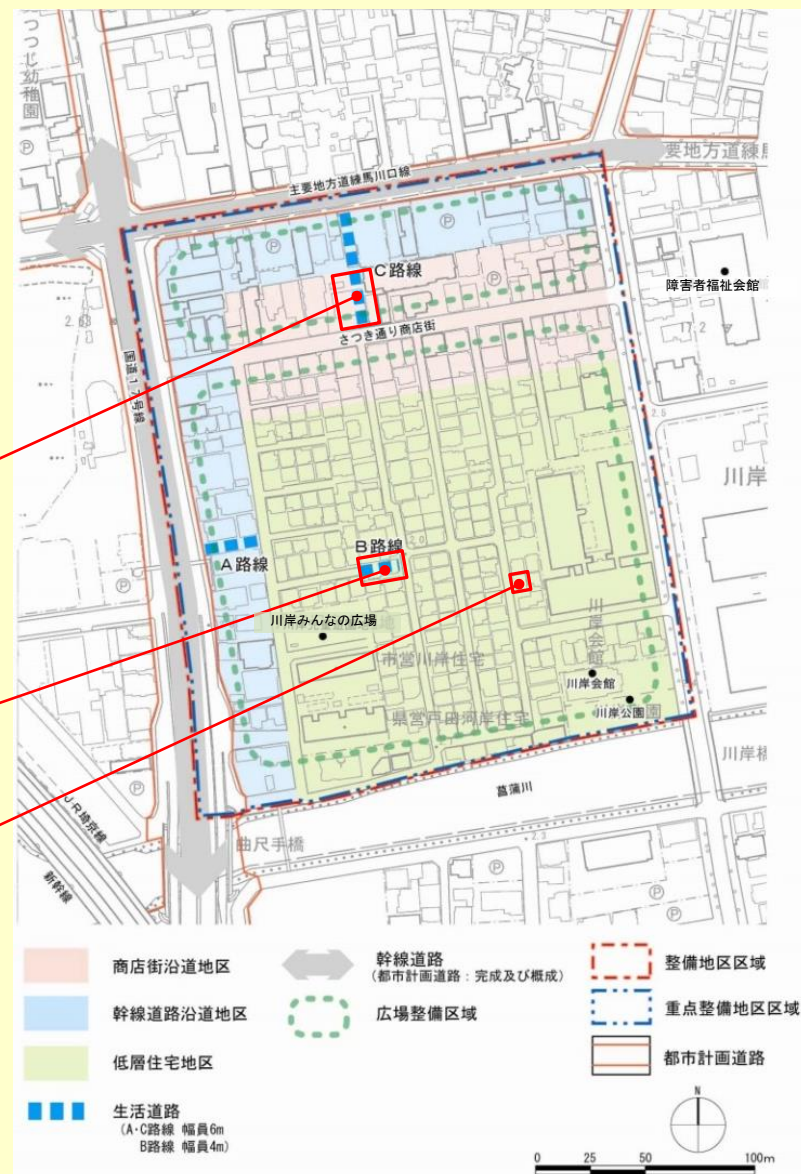
- ・公園・広場用地の取得（H25）
- ・建物の不燃化促進のための住まい・建替え相談会の開催（H22～25）等

■今後の事業の進め方について

今後については、事業用地の取得状況に合わせて、A路線やC路線の整備、その他の場所における公園・広場整備を進めていく予定です。

整備にあたっては、川岸みんなの広場維持管理実行委員会（通称：かわみん）をはじめ、地域の皆様の参加を募ってワークショップ等を開催し、整備内容を検討してまいりますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

事業実施箇所 一覧図



～地区の住民の皆様へのお願い～

川岸地区は、幅員が狭い箇所が数か所あり、公道（市道）に自転車等を日常的に駐輪すると、自動車や自転車、歩行者の通行の妨げとなり、大変危険です。

公道（市道）へは、日常的に自転車を置かない、または通行の妨げにならないようにご協力をお願いいたします。

【ニュースに関するお問合せ先】

◆戸田市役所まちづくり推進室住環境整備担当 048-441-1800（内線268）
（川岸地区まちづくり推進協議会事務局）

編集協力：（株）マヌ都市建築研究所

まちづくりニュース **かわぎし**

平成28年2月
発行：川岸地区まちづくり推進協議会

平成28年2月18日、最後の総会を開催しました

去る平成28年2月18日（木）、川岸地区まちづくり推進協議会は最後の総会を開催しました。

「川岸地区まちづくりを考える会」から平成9年に「川岸地区まちづくり推進協議会」と改名し、新たなスタートをきってから、19年にわたり協議会は継続して防災まちづくりに取り組んできました。

平成18年度に作成した「防災まちづくり推進計画」に基づく取り組みがほぼ完了し、一定の成果を得ることができたことから、今年度をもって協議会を解散とすることに決定しました。

解散総会 概要

日時	平成28年2月18日（木） 午後6時から
会場	川岸会館1階 集会室
来賓	神保国男 戸田市長
参加者	阿久津、伊藤、大山、尾里、瀬谷、徳重、長坂、永島、峰崎、矢部、山谷、山本（五十音順、敬称略）

◆ 総会（第106回協議会）の様子 ◆

～ 次第 ～

1. 開会
2. 会長挨拶（長坂会長）
3. 来賓挨拶（神保市長）
4. 町会長挨拶（大山町会長）
5. 記念撮影（会長、市長）
6. 議長選出（尾里副会長）
7. 議題
8. 閉会
9. 懇親会



会場の様子



会長挨拶



記念撮影

◎ 会員からのメッセージ

これまで、長きにわたり、当協議会の活動に多大なご支援・ご協力をいただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。（長坂会長）

考える会と協議会が歩んだ26年間は、まさに地域の皆様とともに歩んだ26年間でした。ありがとうございました。（瀬谷総務会長）

今後も地域の皆様と市の協働で川岸地区の防災まちづくりが継続していくものと願っています。（尾里副会長）

多くの方々のご協力を頂き、活動してきました。
19年間、ありがとうございました！

*2ページで、協議会の活動を振り返ります！

川岸地区まちづくり推進協議会のあゆみ

川岸地区まちづくり推進協議会は、平成2年6月に「川岸地区まちづくりを考える会」として発足しました。

平成9年に「川岸地区まちづくり推進協議会」へと発展し、「防災まちづくり推進計画」市長提言、道路の愛称募集、川岸児童遊園地改善計画、生活道路B路線に関する検討など、ハード・ソフト双方の防災まちづくりを推進してきました。



①



②



③

- ①生活道路B路線
- ②川岸みんなの広場開園イベント
- ③地区内南北道路の愛称決定（手作りの看板）

～～～主な活動内容～～～

◎ まちづくり推進に関する協議

地域の状況の情報交換をしながら、まちづくり事業の推進やまちの課題抽出、取り組み方針の検討などを行いました。

（総会・協議会：106回、総務会：61回、川岸児童遊園地の維持管理を考える会議：5回）



平成28年、記念すべき第100回協議会を開催！

◎ 先進事例地区見学会の開催

防災まちづくりについて学ぶため、ほぼ毎年、先進的な取り組みを行っている地域・施設の見学を行いました。

（全24回、のべ36か所）



◎ まちづくりに係る計画の検討

まちづくり事業の整備計画、公園の基本計画、通り抜け道路の計画などについて検討を行いました。



◆ これまでに検討した計画・構想 ◆

- 川岸地区まちづくり構想の提言 (H3年度)
- 川岸地区地区計画の検討 (H3～7年度)
- 防災まちづくり提言書の提言 (H11年度)
- 防災まちづくり推進計画の提言 (H19年度)
- 防災まちづくりプランの提言 (H20年度)
- 川岸児童遊園地改善計画案の提言 (H24年度)
- 川岸児童遊園地の維持管理に係る検討 (H25～26年度)
- 行き止まり道路避難ガイドブックの作成 (H27年度)

◆ 防災まちづくりイベントの開催

地域住民の皆さんと一緒に楽しく防災まちづくりを考えるため、防災まちづくりイベントを計12回企画・開催しました。



平成27年度活動報告 協議会の取り組みと成果

平成27年度、協議会は①行き止まり道路解消に向けた取り組み、②今後の協議会の活動方針に関する協議を行ってきました。取り組みと成果をご報告します！

①行き止まり道路解消に向けた取り組み

『行き止まり道路避難ガイドブック』完成！



～ 協議会の取り組み ～

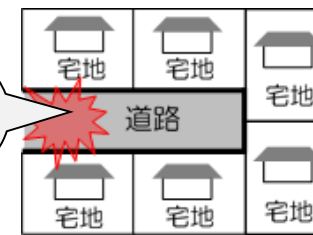
行き止まり道路からの避難経路を確保し、災害時に慌てず避難できるように、身近な取り組みを解説するガイドブックを作成しました。

平成28年1月、該当の道路沿道にお住まいの方々に配布しました。

行き止まり道路とは？

行き止まり道路とは、たとえば下の図のような、袋小路の路地のことです。

ブロック塀や建物が倒壊すると、避難できなくなるおそれ！



ガイドブックをご紹介します！

「準備編」では避難路の確認など日頃から準備できること、「身近な経路づくり編」では木戸の設置など避難経路づくりに役立つことを紹介しています。「災害時ストーリー編」では、災害時にどのように行動すればよいか、ストーリー仕立てで解説しています。

目次

- ◎準備編
 - ～災害時の避難のために、すぐに始められること～
- ◎身近な経路づくり編
 - ～より安全な避難に向けた取り組み方～
- ◎災害時ストーリー編
 - ～避難ガイドブックの役立て方～



これまでの成果を確認、協議会解散を決定！

②今後の協議会の活動方針に関する協議



～ 協議会の取り組み ～

会議や会員アンケートなどを行い、これまでの継続した取り組みによって「防災まちづくりプラン」に掲げた課題に対して一定の成果をあげ、協議会の取り組みがほぼ完了したことを確認しました。

よって、平成27年度で協議会を解散することに決定しました。



会議の様子